

わが町
わが村

菊池郡大津町

企業誘致で大きく飛躍



江戸時代、大津は細川藩参勤交代のお上りの最初、お下りの最後の宿場町として栄えてきました。阿蘇・外輪山の裾野から、扇型に広がる熊本平野の要のところに位置し、緑と水と豊かな自然に囲まれた平凡な農業の町としてあゆみ続けてきました。しかし、社会的、経済的情勢の変化に伴い、農業主体の産業からの脱皮に迫られ、昭和四十三年から、工業誘致に踏みだしました。その結果現在九社の工場の立地をみましたが、それは、大津町に備わった広大な土地・交通の利便性そして豊かな労働力が、内陸部に進出を希望する企業の要求に充分応え得るものであったからだと考えられます。また、これらに対する町民の理解は、企業誘致の大きな原動力になったといえます。特に、昭和五十一年一月、本田

技研工業(株)熊本製作所の操業開始後、町の工業出荷額は飛躍的に伸び、本町はその目的とする「農、工、商の調和のとれた発展」に向かって大きく前進しています。このような工場誘致の成果は、次のとおりです。

- ① 町民所得の向上→生活の安定
- ② 就業機会の増大により、若年層の地元定着、Uターン等で町に活気が出ている。

- ③ 出稼者の激減
- ④ 町の歳入面での増加
資産税、法人税が歳入増となるほか、進出工場の床面積によって交付される工業再配置促進費補助金を利用して、集会所二ヶ所、武道館を建設。さらに昭和五十七年から文化ホールのな町民集合所の建設に着手。

本町にとって、このような大企業の進出は非常に良い結果となっていますが、それは町民の理解とその期待に込めている企業の努力のたまものだと言えましょう。

テクノ回廊の重要拠点

このような工業の集積と広大な



本田技研工業(株)熊本製作所。



「地元との融和を第一に」をモットーに行われている本田夏まつり。町民と本田の交流です。

「工業再配置補助金」を活用して600人収容のホールを建設中。(ことし10月には完成)



構想の具体化に大きな役割を果たすものと期待されています。また工場産業の大津電子(集積回路生産)は四十五年の操業以来飛躍的な伸びを示し、急成長を遂げています。

町では今後もIC、コンピュータなどを中心に先端技術産業の誘致を積極的に進めていきます。また一方ではこれらの工場働く人たちが快適に暮らせるようにと生活環境の改善につとめ、商業集積の充実、公園・緑地の整備、住環境の整備など地元住民と新住民がともに融和しながら、豊かな生活ができるよう新しい定住構想の実現をめざしています。

■世帯と人口の推移

年次	世帯数	人口		
		総数	男	女
昭和40.10.1	4,279	20,054	9,469	10,585
45.10.1	4,374	18,322	8,610	9,712
50.10.1	4,642	18,086	8,531	9,555
55.10.1	5,519	19,894	9,604	10,290
58.5.1	6,359	21,510	10,572	10,938

■誘致工場一覧表 (昭和58年)

工場名	工場敷地	操業開始	従業員数	製造品名
大津電子(株)	0.56 ^{ha}	45年1月	347 ^人	集積回路組立
センガメンズアパレル(株)	0.83	45年2月	202	紳士服縫製
九州コベス(株)	6.10	46年1月	131	靴下
武山鑄造(株)熊本工場	5.15	48年2月	45	鉄鉄、鋳物
協立コンクリート(株)大津工場	9.00	48年4月	78	コンクリート二次製品
中央可鍛(株)熊本工場	5.37	48年10月	58	鉄鉄、鋳物
本田技研工業(株)熊本製作所	185.00	51年1月	2,760	輸送機器
湯浅電池(株)	0.95	51年8月	5	バッテリー
信越石英(株)九州事業所	0.18	55年3月	12	石英ガラス加工製品
(株)構造計画研究所	1.21	59年予定		コンピューターソフトウェア
富士精工(株)	2.30	59年予定		超硬工具

土地、交通条件を背景にいま、大津町は熊本テクノポリス建設構想「新火の国計画」の「テクノ回廊」の重要拠点として注目を浴びています。

すでに三月、大津進出協定に調印、来年操業を開始する(株)構造計画研究所はコンピュータ・ソフトウェア開発の大手で国内トップ企業。構造物の構造計算、デザイン、構造設計など工学全般にわたるソフトウェアの開発を主業務とする先端技術産業です。

日本の頭脳集団とも言われる同研究所の大津町進出は熊本テクノ

新しい定住構想の実現をめざして5階建ての町営住宅「あけぼの団地と昭和園」



本田技研工業(株)

熊本製作所の概要

所在地 熊本県菊池郡大津町大字平川
1500(TEL 09629-3-1111)

工場敷地 185ha

生産機種 50cc.~250cc.の二輪車及び部品

主な輸出生 アメリカ・ドイツ・フランス・イギリス・東南アジア・中近東など百数ヶ国

生産台数・工業出荷額・従業員の推移

年	生産台数	出荷額	従業員数
51年	261,215 ^台	225 ^{億円}	750 ^人
52	441,969	347	1,019
53	578,276	421	1,270
54	671,664	425	1,325
55	816,288	750	1,560
56	969,782	880	1,840
57	1,128,553	957	2,500
58(予定)	1,680,000	1,400	2,760